

教会創立102周年

週 報

2025年6月1日 5344週

【今年度のテーマ・聖句】

「共に喜ぶ」

—ハレルヤ わたしの魂よ主を讃美せよ—
わたしたちの一つの体は多きの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。（ローマの信徒への手紙 12章 4～5節）

巻 頭 言

牧師 加藤英治

教会暦の話② アドベント、クリスマスとその謎

教会暦は、クリスマス、御子イエス・キリストの降誕を待ち望むことから始まります。クリスマス、つまりイエス・キリストの誕生を祝う日は、毎年十二月二十五日と決められています。そのクリスマス当日から四つさかのぼった主の日は、「待降節第一主日」、それから四回の日曜日を数えて、御子の誕生を待ち望んでいきます。この期間が、「アドベント」「待降節」です。この期間には、様々なイベントの持ち方があり、それがクリスマス気分を盛り上げて行くために用いられます。例えば、多くの教会でなされている「アドベントク・克蘭ツ」。礼拝堂に四本のろうそくを立て、毎週一本ずつ灯していくのです。また、「アドベント・カレンダー」というものもあります。アドベントの期間、毎日カレンダーの紙をはがしたりしていくつて、クリスマスへの期待を高めていくのです。

ところで、このアドベントからクリスマスにかけての歩みについて、私には長年の疑問・謎があります。それは、十二月二十五日クリスマス当日そのものを、ほとんど教会では祝わないことです。本来は、アドベントが始まって四回の日曜日を数えてその後に、初めてクリスマスを祝うべきだと思うのですが、多くの教会では「アドベント第四主日」、場合によって「第三主日」に、もう「クリスマス礼拝」をしてしまつて、「クリスマスは、はいおしまい」ということになってしまいます。「イブ礼拝」はやりませんが、それとてもクリスマスの「イブ」つまり「前夜」です。それで、本当のクリスマス二十五日は、「家庭でケーキを囲んで静かに」となるのですが、案外これがクリスマスの祝い方としてはふさわしいのかもしれない。ほとんどだれにも知られずに（両親と羊飼いと博士たち以外には）生まれた来られた、イエス・キリストの誕生だからです。

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax: 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 庄司まり子執事
奏楽 山下一恵姉

前 奏
招 詞 イザヤ 55 : 8 ~ 11
頌 栄 669 (みさかえあれ(B))
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 34 (伝道者の足)
讃 美 254 (喜び迎えよ)
聖 書 フィリピ 1 : 12 ~ 21
(新共同訳 361p 口語訳 308p)
祈 禱
子供メッセージ 加藤英治牧師
讃 美 261 (み霊なる 聖き神)
聖歌隊
宣 教 「キリストが切り開く」
加藤英治牧師
祈 禱
讃 美 437 (歌いつつ歩まん)
献 金 祈り : 田中秀一兄
(兄弟会)
頌 栄 673 (救い主 み子と)
祝 禱 加藤英治牧師
後 奏
報 告

◎今月の聖句

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、私の証人となる。」

(使徒言行録 1 章 8 節)

本日の集会

教会学校

幼稚科・小学科 中高科
青年・成人科
9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付 : 二木榮子 持田文重

酒井光子(当番役員)

お花 : 酒井光子

主の晩餐式

11 : 40 ~ 11 : 55

常会

12 : 00 ~ 12 : 45

会堂清掃

常会后

◎今週の集会(6月1日~6月7日)

<聖書> フィリピ 2 : 1 ~ 18

4日(水) 祈祷会Ⅰ 10 : 30

(奨励 : 加藤英治牧師)

4日(水) 祈祷会Ⅱ 19 : 30

(奨励 : 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

1日(日) フィリピ 1 : 12 ~ 30

瀧野有希子

2日(月) フィリピ 1 : 1 ~ 2

田中秀一

3日(火) フィリピ 1 : 3 ~ 11

田中登美子

4日(水) 使徒言行録 16 : 6 ~ 15

田中基子

5日(木) フィリピ 1 : 20 ~ 26

田中由紀子

6日(金) I ペトロ 2 : 21 ~ 25

千葉敦子

7日(土) ルカ 24 : 44 ~ 49

中村響子